

## 【セミナー】

# アジア地域の水資源共同管理から展望する共生社会 ～日本、タイ、バングラデシュの水資源管理の現場から～

2018年2月13日（火）

18:30～20:30（18:15開場）



会場：地球環境パートナーシッププラザ（GEOC）  
東京都渋谷区神宮前5-53-70 国連大学ビル1F

■定員 50名

■参加費 無料

■申込み

以下のフォームからお申込みください。

[goo.gl/pGoQEm](http://goo.gl/pGoQEm)

■主催：アジア水資源共同管理研究会

■助成：星槎大学共同研究助成

■お問合せ先

特定非営利活動法人メコン・ウォッチ

Tel: 03-3832-5034 Fax: 03-3832-5039

Email: [info@mekongwatch.org](mailto:info@mekongwatch.org)

■詳細はこちら↓

[goo.gl/3LFLiF](http://goo.gl/3LFLiF)

### 【スピーカー】

- ・「愛知（えち）川流域の大規模かんがい事業の課題からアジアへ」

保屋野初子（星槎大学共生科学部／教授）

- ・「北タイ：水資源管理の近代化と変容する“伝統的”住民組織のあり方」

東智美（日本学術振興会／特別研究員）

- ・「バングラデシュ：コミュニティ水資源管理を適地適作推進の視点から考える～過度に灌漑に依存しない持続可能な農業普及の事例～」

石山民子（アジア砒素ネットワーク／理事）

- ・「アジアの持続可能な水資源管理に向けて」

大塚健司（アジア経済研究所／主任研究員）

セミナー：アジア地域の水資源共同管理から展望する共生社会  
～日本、タイ、バングラデシュの水資源管理の現場から～  
2018年2月13日（火）18：30～20：30@GEOC



北タイの伝統的な灌漑システム「ムアン・ファーイ」



環境影響を引き起こすバングラデシュの地下水過剰揚水

人口増加、人間活動の拡大、気候変動などを要因に世界各地で水不足や水をめぐる紛争が多発する中、1990年代頃から持続可能な水資源利用・管理が目指されてきました。2017年、河川や農業用水に関する環境問題に取り組んでいる研究者やNGOメンバーが集まり、水をめぐる人びとと自然の共生、異なる利害関係者の共生のあり方を考え、未来への展望を議論しようと「アジア水資源共同管理研究会」を立ち上げました。研究会では、2017年度に星槎大学の共同研究助成を得て、北タイの伝統的なかんがいシステム「ムアン・ファーイ」、水不足解消をめぐる利用者間の調整が課題となっている滋賀県愛知（えち）川沿岸土地改良区を訪問し、聞き取り調査を行いました。今回、中間報告として公開研究会を開催し、滋賀県愛知川沿岸、バングラデシュのジナイダ県、タイのチェンラーイ県の水管理の事例を紹介し、アジアの水資源管理に共通する課題について、参加者とともに考えたいと思います。

プログラム：

司会 渋谷節子（星槎大学共生科学部／教授）

18:30～18:35 はじめに・・・保屋野初子（星槎大学共生科学部／教授）

18:35～19:00 「愛知川流域の大規模かんがい事業の課題からアジアへ」・・・保屋野初子

19:00～19:25 「北タイ：水資源管理の近代化と変容する“伝統的”住民組織のあり方」  
・・・東智美（日本学術振興会／特別研究員）

19:25～19:50 「バングラデシュ：コミュニティ水資源管理を適地適作推進の視点から考える～過度に灌漑に依存しない持続可能な農業普及の事例～」  
・・・石山民子（アジア砒素ネットワーク／理事）

19:50～20:00 コメント「アジアの持続可能な水資源管理に向けて」  
・・・大塚健司（アジア経済研究所／主任研究員）

20:00～20:25 質疑応答

20:25～20:30 まとめ・・・保屋野初子

※ プログラムは変更になることもあります。